

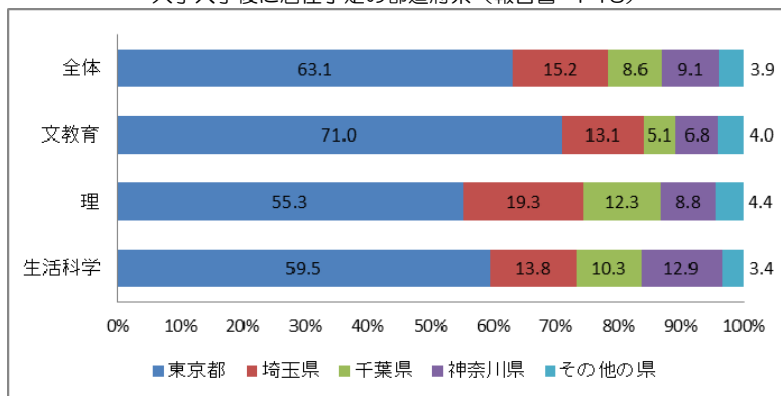
# 平成25年度「新入生の生活に関する調査」

## 第2回 「お茶の水女子大学に入学後の学生生活」

### 1. 都内を中心に、「実家」「アパート・マンション」「学生寮」から通学

本学の新生は、どこから本学に通学する予定なのでしょうか。

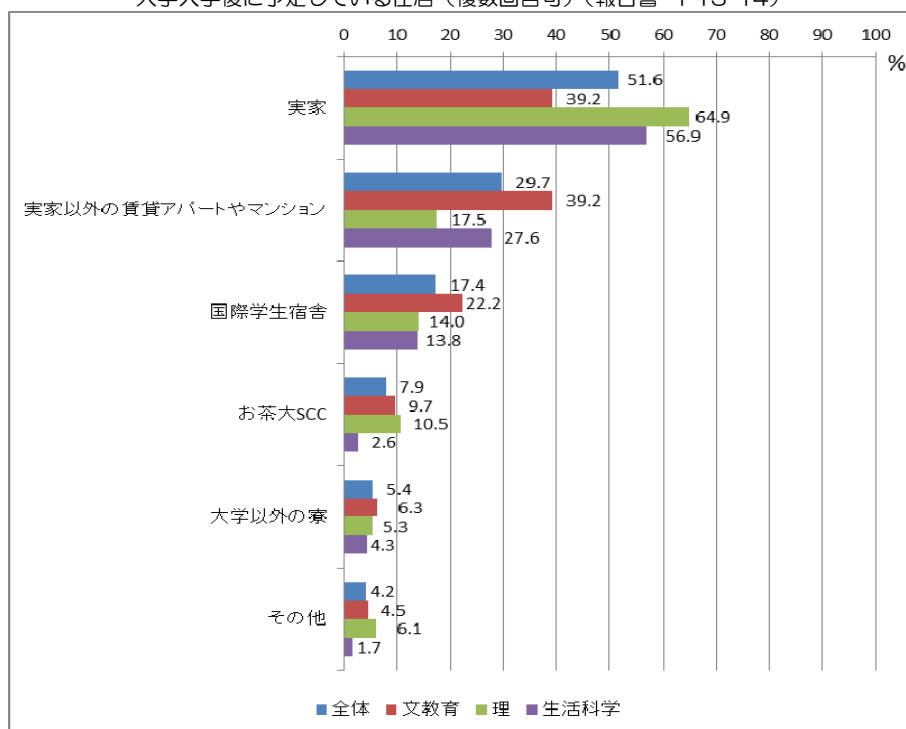
大学入学後に居住予定の都道府県（報告書 P13）



全体で見ると、昨年度同様、「東京都」が63.1%と最も高く、「埼玉県」「神奈川県」「千葉県」と続いています。「東京都」の高校出身者は21.5%でしたので（報告書 P5）、親元を離れて、本学の所在地である「東京都」に居住予定の人が多いことがうかがえます。この傾向は、文教育学部で顕著に示されています。

では、大学入学後にはどのような住居を予定しているのでしょうか。

大学入学後に予定している住居（複数回答可）（報告書 P13-14）



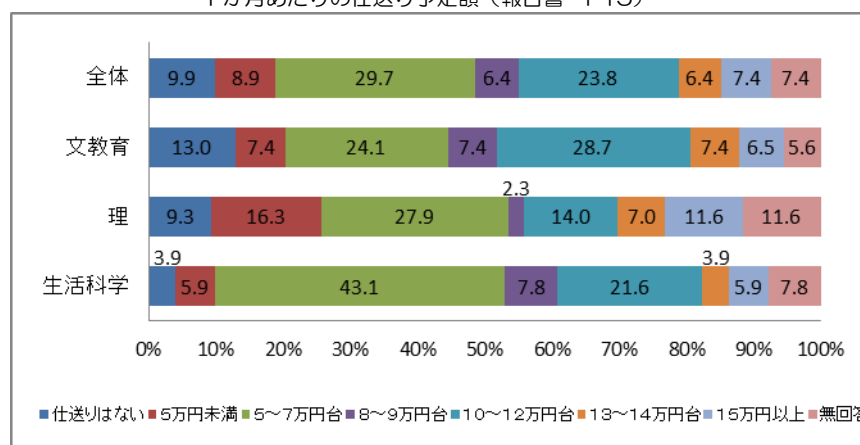
全体で見ると、「実家」が51.6%と半数を超えており、「実家以外の賃貸アパートやマンション」、「国際学生宿舎」や「お茶大 SCC」といった学生寮がそれに続いています。こうした結果は昨年度も同様に示されています。

ただし今年度は、「実家」が文教育学部では 39.2%と他学部比べて明らかに低い結果となっています。

## 2. アパートやマンションの家賃は「毎月5～9万円台」がおよそ8割

では、本学の新入生、特に「実家」以外からの通学を予定している人は、どの程度の金額の仕送りを受け、そのうちのどの程度の金額を家賃として予定しているのでしょうか。

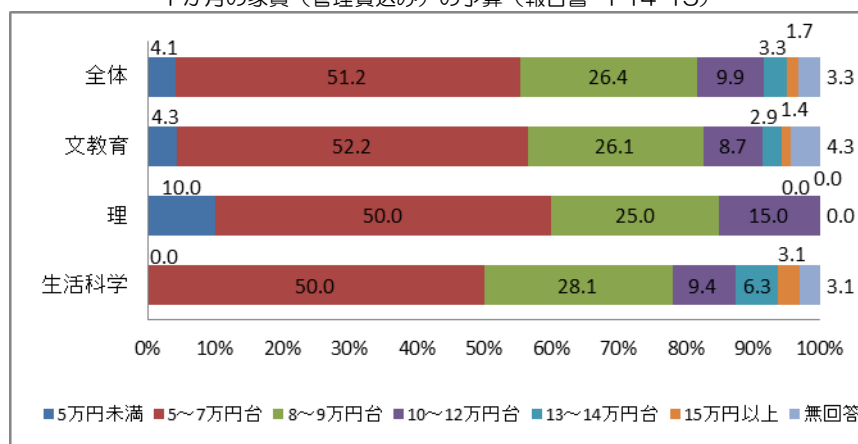
1 か月あたりの仕送り予定額（報告書 P15）



1 か月あたりの仕送り予定額（万円未満は四捨五入）について、「実家」以外に居住予定の人に尋ねたところ、全体で見ると「5～7 万円」が 29.7%と最も高く、「10～12 万円」が 23.8%でそれに続いています（昨年度は「10～12 万円」がおよそ 3 割で最も高く、「15 万円以上」も 15%程度みられました）。「仕送りはない」「5 万円未満」も少なからずみられ、「仕送りはない」は全体の 1 割を占めています。

さらに、1 か月の家賃（管理費込み）の予算（千円未満は四捨五入）について、「賃貸アパートやマンション」に居住予定の者に尋ねたところ、「5～7 万円」が 51.2%と最も高く、「8～9 万円」と合わせるとおよそ 8 割を占めています。昨年度も同様の結果が示されています。

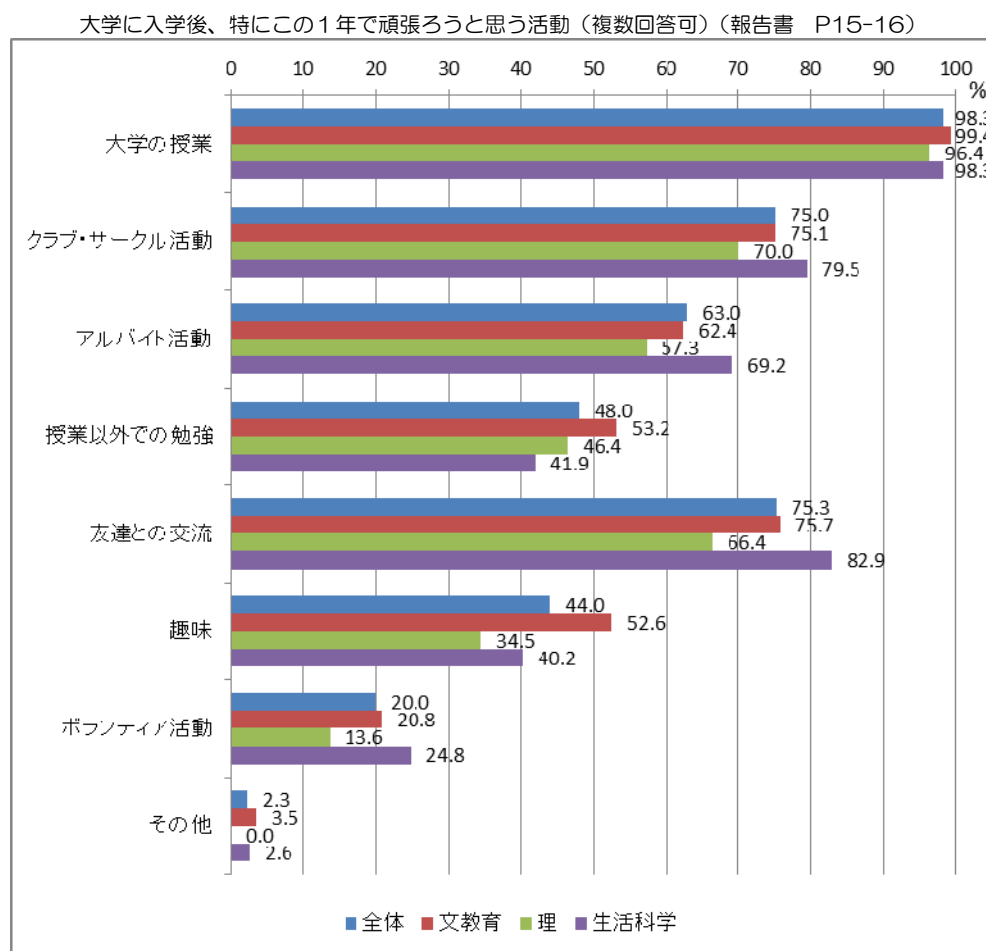
1 か月の家賃（管理費込み）の予算（報告書 P14-15）



### 3. この1年で頑張りたいのは、

#### 「大学の授業」「友達との交流」「クラブ・サークル活動」

では、本学の新生は、大学に入学後、特にこの1年でどのような活動を頑張ろうと思っているのでしょうか。



大学に入学後、特にこの1年で頑張ろうと思う活動について、複数回答可として尋ねたところ、全体で見ると、「大学の授業」が98.3%に及んでおり、大多数の新生が「大学の授業」を頑張ろうと思っていることがわかります。この結果は、昨年度も同様に示されています。それに続き、「友達との交流」「クラブ・サークル活動」が全体の75%を超えています。いずれも理学部では他学部比べて低い結果となっています。

### 4. 新生は「授業や単位」「就職や将来」「人間関係」が、

#### 保護者は「就職や将来」「健康面」「人間関係」が不安

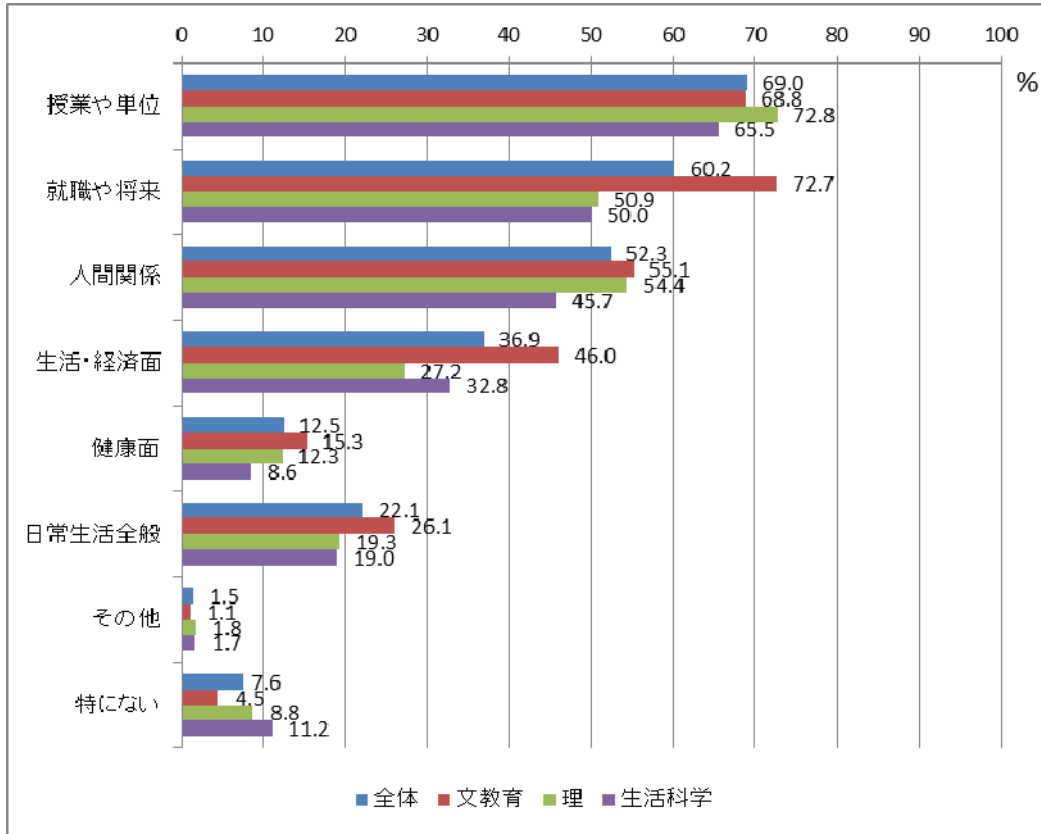
では、本学の新生やその保護者は、大学入学後の大学生活に対してどのような不安を抱えているのでしょうか。

まずは、新生自身の回答結果をみていきましょう。

「特にない」は全体の7.6%に過ぎず、新生の多くは、大学生活に関して何らかの不安を抱えていることがうかがえます。不安の中身に目を向けると、「授業や単位」「就職や将来」が6割を超えており、それに「人間関係」が52.3%で続く結果となっています。こうした傾向は、昨年度も同様にみられました。

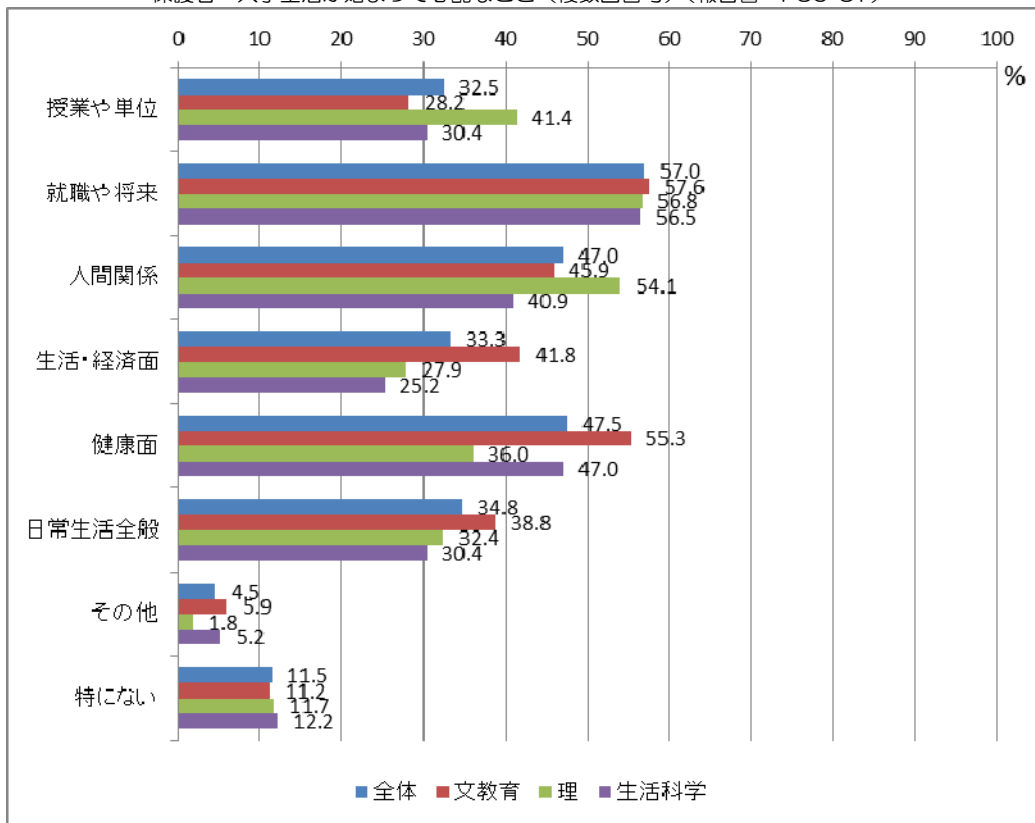
学部別にみると、文教育学部での「就職や将来」は他学部比べて20ポイント以上高く、その不安の大きさが顕著に示されています。

新入生：大学生活が始まって心配なこと（複数回答可）（報告書 P19-20）



同様に、新入生の保護者の回答結果をみていきましょう。

保護者：大学生活が始まって心配なこと（複数回答可）（報告書 P36-37）



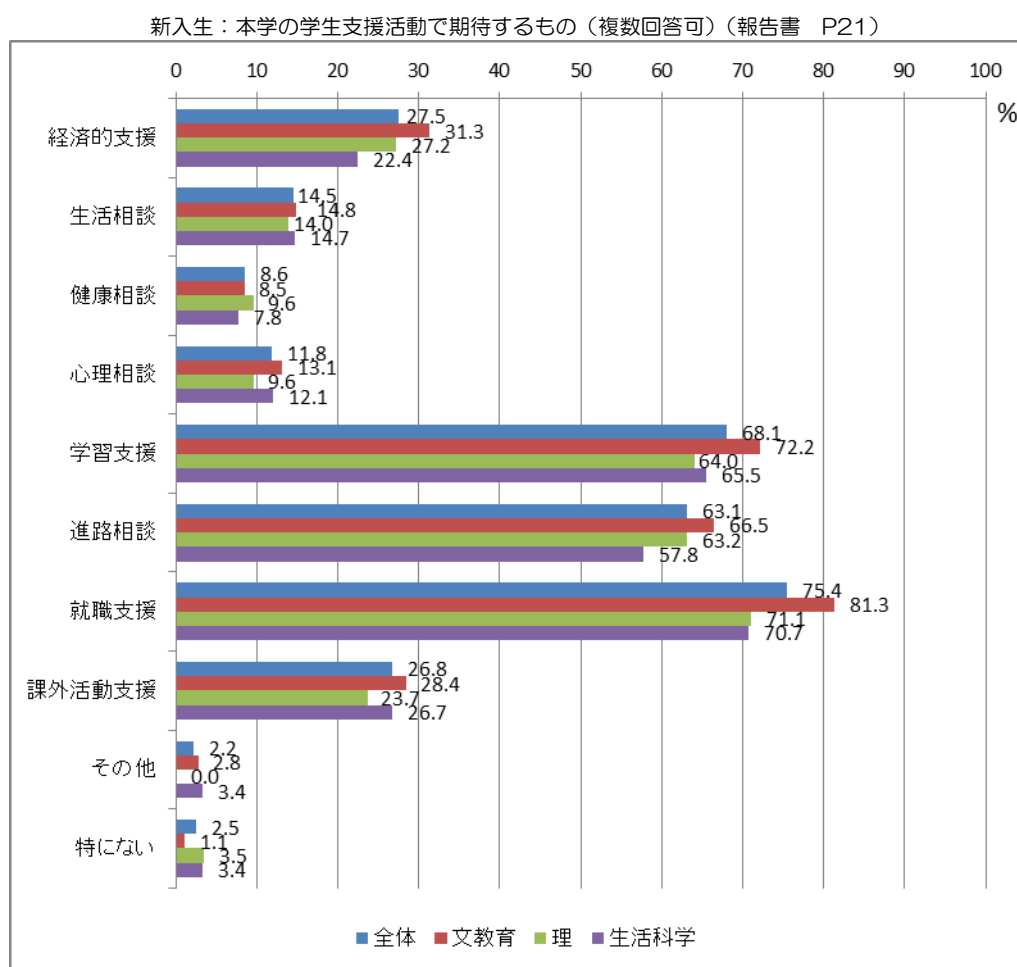
全体でみると、昨年度同様、「就職や将来」が 57.0%と最も高く、「健康面」「人間関係」がそれに続く結果となっています。

学部別にみると、「就職や将来」に関しては大きな差はみられませんが、「健康面」では文教育学部が高く、「人間関係」では理学部が高いといった傾向もみられます。他学部に比べて理学部で「人間関係」が高いという結果は、昨年度も同様に示されています。

## 5. 新入生・保護者ともに、就職支援活動をもっとも期待

さいごに、本学の新生や保護者が期待する学生支援活動についてみていきましょう。

まずは、新入生自身の回答結果をみていきましょう。

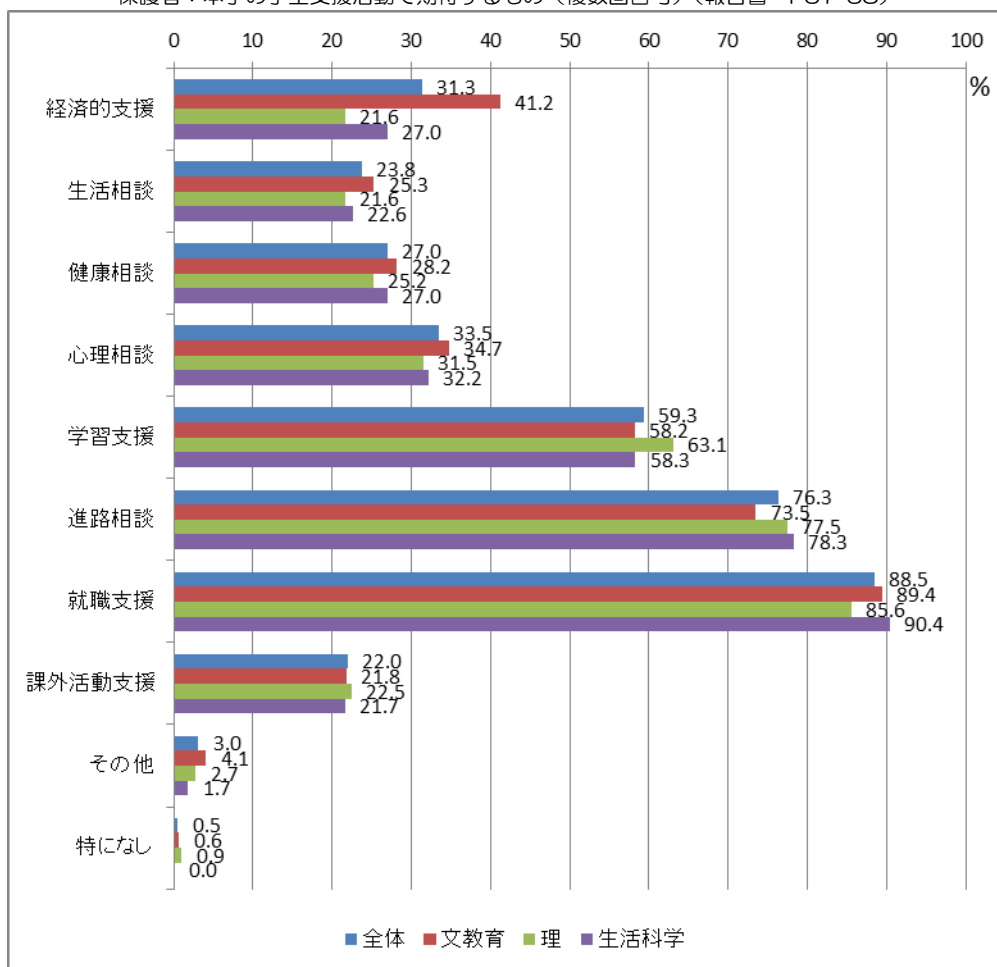


全体でみると、「就職支援」が 75.4%と最も高く、「学習支援」「進路相談」が 6 割を超えてそれに続いています。これらの支援への期待は、文教育学部での高さがいずれでも目立っています。

同様に、新入生の保護者の回答結果をみていきましょう。

全体でみると、「就職支援」が最も高く、文教育学部や生活科学部ではおよそ 9 割に達しています。それに「進路相談」「学習支援」が続いていますが、昨年度も同様の結果が示されています。

保護者：本学の学生支援活動で期待するもの（複数回答可）（報告書 P37-38）



次回は、  
**「大学卒業後の進路展望  
 と保護者の関与」**  
 について、ご報告します。



「学生・キャリア支援センター *Research Report*」としてその一部を紹介いたします報告書は、学生・キャリア支援チーム（内線2646、[gakusei@cc.ocha.ac.jp](mailto:gakusei@cc.ocha.ac.jp)）で冊子入手できるほか、TeaPot からPDF形式でダウンロードいただけます。  
 (<http://teapot.lib.ocha.ac.jp/ocha/handle/10083/53912>)。